



伊万里市環境基本計画実施計画【後期】 (令和3年度～令和7年度)



令和3年3月
伊万里市

目 次

第1章 実施計画の基本的な考え方

1. 実施計画の考え方	2
2. 実施計画見直しの背景	2
3. 計画の期間	2
4. 計画実現のための施策体系図	3
5. 環境基本計画の数値目標	4

第2章 伊万里市の取組

1. 水・空気がおいしいまち伊万里（生活環境）	
主な取組① 大気、水、土壌の保全	5
主な取組② 騒音、振動、悪臭対策	8
主な取組③ ペット等飼育マナーの向上	10
2. 地域の風土を活かした美しいまち伊万里（まちなみ環境）	
主な取組① 清掃、美化意識の推進	11
主な取組② 歴史的まちなみの利活用	13
主な取組③ 公園、緑地（みどり）の整備	14
3. 豊かな自然があふれるまち伊万里（自然環境）	
主な取組① 自然環境の保全	16
主な取組② 生物多様性の確保	18
4. 地球にやさしいまち伊万里（地球環境）	
主な取組① 省エネルギー、地球温暖化対策	20
主な取組② 再生可能エネルギーの導入	22
主な取組③ 省資源化対策、循環型社会の構築	22
5. 次の世代を考えるまち伊万里（環境保全体制）	
主な取組① 環境学習と保全活動の推進	25
主な取組② 環境意識の向上	25

第3章 環境保全に向けた私たちの取組

市民ネットワーク「いまり」からの意見	27
--------------------	----

第1章 実施計画の基本的な考え方

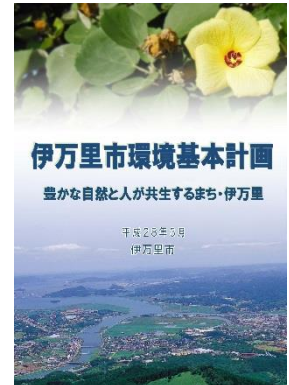
1. 実施計画の考え方

第2次伊万里市環境基本計画は、環境都市像として「豊かな自然と人が共生するまち・伊万里」を掲げ、令和7年度を目標年次として策定しています。この計画では、5つの基本目標を定め、総合的かつ計画的に環境保全の取組を進めていくこととしており、行政（市）や市民、事業者、CSO※の役割を定めています。

この目標を実現するために、各主体のうち市が行うべき取組を具体的に明記し、計画的に取り組んでいくための計画が「伊万里市環境基本計画実施計画」となります。

※CSO（Civil Society Organization（市民社会組織））

NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体。



基本目標

- (1) 水・空気がおいしいまち伊万里（生活環境）
- (2) 地域の風土を活かした美しいまち伊万里（まちなみ環境）
- (3) 豊かな自然があふれるまち伊万里（自然環境）
- (4) 地球にやさしいまち伊万里（地球環境）
- (5) 次の世代を考えるまち伊万里（環境保全体制）

この5つの基本目標を達成するための取組を示したものが実施計画であり、基本的取組ごとに市が取り組むべき具体的な事項を示したものです。

2. 実施計画見直しの背景

伊万里市では、環境に関する各種施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成18年3月に「伊万里市環境基本計画」を策定し、それを実行するために「伊万里市環境基本計画実施計画」を策定して各種事業を推進してきました。

今回、令和3年度からの具体的な取組を実施するため、「伊万里市環境基本計画実施計画（後期）」を策定し、環境に関する市の各種事業を推進していきます。

計画名		計画期間
第1次伊万里市環境基本計画		10年（平成18年度～平成27年度）
	伊万里市環境基本計画実施計画（前期）	5年（平成18年度～平成22年度）
	伊万里市環境基本計画実施計画（後期）	5年（平成23年度～平成27年度）
第2次伊万里市環境基本計画		10年（平成28年度～令和7年度）
	伊万里市環境基本計画実施計画（前期）	5年（平成28年度～令和2年度）

3. 計画の期間

実施計画（後期）の期間は、令和3年度から令和7年度までの5ヵ年とします。

(参考) 計画実現のための施策体系図



(参考) 環境基本計画の数値目標

項目		目標 (R7)
環境基準値達成状況	大気の測定結果 二酸化窒素 (NO ₂)	全地点で達成
	水質の測定結果 河川 (BOD: 生物化学的酸素要求量) 海水 (COD: 化学的酸素要求量)	全地点で達成
	騒音の測定結果 自動車騒音・一般環境騒音	全地点で達成
狂犬病予防の接種率		95%
市民大清掃への参加		26,000人
ふるさと美化活動の参加団体・参加者数		25団体・350名
湾岸清掃活動の参加者団体・参加者数		15団体・490名
まちなみ環境に対するアンケートの満足度 (大変良くなった・良くなったと答えた人の割合)		50%以上
自然観察会への参加 (カプトガニ観察会)		200人
植物の絶滅危惧種の数		62種類
1日1人当たりのごみ排出量		700g
環境講座の開催数		5回
資源化率		23%

<環境基準>

★二酸化窒素

1時間値の1日平均値0.04ppm~0.06ppmのゾーン内またはそれ以下

★BOD

有田川 → 2mg/L以下

新田川、白野川 → 3mg/L以下

★COD

スミセ北 → 2mg/L以下

黒川湾内 → 3mg/L以下

★自動車騒音

国道及び県道 → 昼間70デシベル、夜間65デシベル以下

★一般環境騒音

A 類型、B 類型 → 昼間55デシベル、夜間45デシベル以下

C 類型 → 昼間60デシベル、夜間50デシベル以下

※語句解説

A 類型とは、専ら住居の用に供される地域

B 類型とは、主として住居の用に供される地域

C 類型とは、相当数の住居と併せて商業、工業の用に供される地域

第2章 伊万里市の取組

1. 水・空気がおいしいまち伊万里（生活環境）

主な取組①：大気、水、土壌の保全

想定される課題

- ・大気の悪化（PM2.5、光化学オキシダントによる被害など）
- ・水質の悪化（伊万里湾の閉鎖性水域による水質悪化など）
- ・土壌汚染（飲用井戸水などに対する影響による健康被害など）

取組の趣旨

私達が住んでいる地域の生活環境を保全するためには、一人ひとりが排出する生活排水などを適正に処理したり、不法投棄や野外焼却を行わなかったりするなど、周辺環境に十分配慮した生活を心がけることが必要です。

伊万里市では、水質などの取組項目ごとに環境基準※が達成できているかどうかの測定を継続して行い、測定値の悪化などに対して迅速に対応できるよう努めています。



※ 環境基準

環境基本法第16条に定める「人の健康を保護し及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」

重点目標

項目	目標像
水環境の保全	海水、河川水等の公共用水域において環境基準が達成され、きれいな水環境が確保されている。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
1	水質・底質土調査の実施、結果公開	1	河川水の水質調査延べ検体数	検体	14	14	14	14	14	環境課	継続
		2	海水の水質調査延べ検体数	検体	12	12	12	12	12	環境課	継続
		3	伊万里湾内の底質土調査延べ検体数	検体	3	3	3	3	3	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
2	河川の維持管理	1	市管理河川の浚渫延長	m	200	200	200	200	200	道路河川課	継続
3	飲用井戸水の水質保全	1	飲用井戸水の集合水質検査実施	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
4	大気環境の把握	1	県の常時監視データを活用し、把握に努める	回	12	12	12	12	12	環境課	新規
5	PM2.5注意喚起、光化学オキシダント注意報への対応	1	広報紙等での啓発	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		2	市施設等に対する緊急時対応の確認	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
6	事業所排水の水質調査	1	採水時の立会	回	13	13	13	13	13	環境課	新規
7	事業所排水の指導	1	事業所排水の指導	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
8	環境保全協定の締結	1	進出企業との締結	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
		2	環境測定結果の受領	件	環境保全協定で定めたとおり					環境課	継続
		3	協定内容の監視	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
9	土地開発申請時の審査・指導	1	土地開発協議書の審査・指導	件	30	30	30	30	30	都市政策課	継続
10	小規模下排水路整備事業の実施	1	補助件数	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
11	生活排水対策の指導	1	生活排水に関する苦情・相談対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
12	供用開始区域内の水洗化の促進（戸別訪問・普及促進）	1	公共下水道普及率	%	55.8	56.1	56.4	56.7	57.0	下水道施設課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
12	供用開始区域内の水洗化の促進（戸別訪問・普及促進）	2	農業集落排水普及率	%	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	下水道施設課	継続
		3	公共下水道水洗化率	%	97.3	97.3	97.3	97.4	97.4	下水道施設課	継続
		4	農業集落排水水洗化率	%	89.4	89.5	89.5	89.5	89.6	下水道施設課	継続
13	下水道区域内の雨水渠（排水路）の清掃等による維持管理（清掃・浚渫）	1	雨水渠（排水路）の清掃	回	1	1	1	1	1	下水道施設課	継続
14	エコドライブの推進	1	広報紙等への掲載	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
15	低公害車普及や公共交通機関の利用についての紹介	1	HPや広報誌を利用した啓発	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課 まちづくり課	継続



有田川河口からの有田川と腰岳

主な取組②：騒音、振動、悪臭対策

想定される課題

- ・事業活動等による騒音苦情の発生
- ・事業活動等による振動苦情の発生
- ・事業活動等による悪臭苦情の発生

取組の趣旨

騒音、振動、悪臭は、主に事業活動によって発生することが多く、周辺住民の生活の快適性を阻害することがあります。そのため、事業者等は周辺環境に十分配慮した活動を心がける必要があります。

伊万里市では、環境測定やパトロールを継続して行うとともに、苦情が発生した場合は迅速に対応していきます。



重点目標

○騒音・振動・悪臭の苦情

項目	目標像
騒音・振動・悪臭苦情の減少	市民が不快な騒音や振動、においに悩まされることなく、穏やかに生活する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
16	騒音・振動調査の実施、結果公開	1	一般環境騒音調査	箇所	4	4	4	4	4	環境課	継続
		2	自動車騒音常時監視・評価	路線	3	2	3	1	2	環境課	継続
		3	道路交通振動調査	箇所	1	1	1	1	1	環境課	継続
17	開発・建築協議申請時における騒音・振動対策の指示、周知徹底	1	開発・建築協議申請時の指導	件	240	240	240	240	240	環境課	継続
18	騒音・振動を伴う特定施設・特定建設作業の指導	1	設置届、作業実施届時の指導	件	24	24	24	24	24	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
19	公害対策委員会との連携	1	合同パトロール	回	4	4	4	4	4	環境課	継続
		2	企業への指導	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
20	臭気パトロールの実施、企業への指導	1	パトロール回数	回	24以上	24以上	24以上	24以上	24以上	環境課	継続
		2	企業への指導	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
21	生活に係る騒音・振動・悪臭についての指導	1	苦情・相談対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
22	ごみ集積所パトロールの実施	1	職員によるパトロール	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
23	開発や建築などの作業や工場機械の騒音・振動に関する苦情への対応	1	苦情・相談対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
24	畜産排泄物の処理に対する指導	1	畜産排泄物の適正処理・使用の促進事業等を実施する件数	件	随時	随時	随時	随時	随時	農業振興課	継続
25	野外焼却に対する指導	1	広報紙での啓発	回	2	2	2	2	2	環境課	継続
		2	苦情・相談対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続

主な取組③：ペット等飼育マナーの向上

想定される課題

- ・ペットの飼い方による近隣住民からの苦情（放し飼い、鳴き声による騒音、糞害等）
- ・飼い主の都合による犬猫等の殺処分の発生
- ・狂犬病の発生

取組の趣旨

動物を飼う場合は、周辺の住民に対し十分に配慮しないと、鳴き声などの問題や糞尿などによる悪臭の問題などが起こります。動物にストレスを感じさせないよう十分な環境を与え、人と動物が共生できる環境を作らなくてはなりません。伊万里市では、「伊万里市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、ペットの飼い方に関する啓発等に努めていきます。



重点目標

項目	目標像
ペットに関する苦情の減少	市民がペットに起因する問題に悩まされることなく、穏やかに生活する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
26	ペット等の 飼い方の指導	1	犬のふん回収啓発 看板の配布	件	20	20	20	20	20	環境課	継続
		2	苦情・相談対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
		3	ペットの適正な飼 い方に関する広報 紙での啓発	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		4	犬猫の里親探し情 報のホームページ 掲載	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
27	狂犬病予防接 種率の向上	1	狂犬病予防接種率	%	92.6	93.2	93.8	94.4	95.0	環境課	継続

2. 地域の風土を活かした美しいまち伊万里（まちなみ環境）

主な取組①：清掃、美化意識の推進

想定される課題

- ・不法投棄物の増加
- ・景観の損失、公衆衛生の悪化
- ・管理されていない空き地の増加

取組の趣旨

豊かな自然や農村風景、整備されたまちなみがあっても、ごみのポイ捨てや不法投棄があれば、その環境は損なわれてしまいます。現在ほとんどの地区で春と秋に大清掃が行われ、公共施設や美化活動に多くの市民が取り組んでいます。

伊万里市では、今後も美しい郷土を保つために、市民の清掃活動の支援や不法投棄対策に向けた啓発活動などに努めていきます。



重点目標

項目	目標像
生活環境の美化	ごみの不法投棄がなく、生活環境が美しく保たれている。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
28	不法投棄防止の呼びかけ	1	広報紙の掲載	回	2	2	2	2	2	環境課	継続
29	空き地管理の指導	1	広報等による啓発	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		2	事前調査の実施、苦情・相談、土地所有者への指導等の対応	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
30	水道週間に合わせた有田川河川敷（取水施設付近）の除草作業の実施	1	除草作業実施面積	m ²	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	水道施設課	継続
31	不法投棄監視パトロールの実施	1	職員によるパトロール	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
32	不法投棄防止看板の作成、配布	1	不法投棄防止看板の配布	枚	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
33	伊万里湾岸清掃の実施	1	参加団体数	団体	15	15	15	15	15	環境課	継続
		2	参加人数	人	418	436	454	472	490	環境課	継続
		3	回収量	Kg	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	環境課	継続
34	春・秋の市民大清掃の実施	1	参加行政区数（春）	行政区	181	181	181	181	181	環境課	継続
		2	回収量（春）	Kg	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	環境課	継続
		3	参加行政区数（秋）	行政区	181	181	181	181	181	環境課	継続
		4	回収量（秋）	Kg	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	環境課	継続
35	環境保全活動の事前広報・協力依頼	1	市民大清掃の事前広報・協力依頼	回	2	2	2	2	2	環境課	継続
		2	伊万里湾岸清掃の事前広報・協力依頼	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		3	CATVでの広報	日	14	14	14	14	14	環境課	継続
36	ごみ袋等清掃用物品の配布	1	ごみ袋等の配布	枚	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
37	ボランティア等が回収したごみの処分費用の減免	1	搬入手数料の減免申請	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
38	各子ども会によるクリーン作戦	1	実施回数	回	2	2	2	2	2	生涯学習課	継続
39	ごみ集積所整備補助事業の実施	1	補助基数	基	16	16	16	16	16	環境課	継続

主な取組②：歴史的まちなみの利活用

想定される課題

- ・ 歴史的文化財の荒廃、減少

取組の趣旨

現在、伊万里市には国や県、市が指定した52件の文化財、史跡、天然記念物があり、これらは歴史や文化、風土を明らかにするうえで非常に価値があります。同時に、景観の一部を構成していたり、地域のシンボルとして愛着があったりするので、まちづくりにとって重要な資源であるといえます。

伊万里市では、それらを市民共有の財産として、大切に保存し、次世代に引き継いでいくための活動に努めていきます。



重点目標

項目	目標像
指定文化財等	現在の文化財等を適正に保存・継承する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
40	文化財の指定	1	市指定文化財の指定件数	件	40	40	41	41	42	生涯学習課	継続
41	文化財報告書の作成	1	発行回数	回	2	-	-	1	-	生涯学習課	継続
42	文化財保存事業への助成	1	助成件数	件	11	11	11	11	11	生涯学習課	継続
43	文化財関連情報の広報紙の掲載	1	広報紙の掲載	回	15	15	15	15	15	生涯学習課	継続
44	まちづくり出前講座・公開講座等の実施	1	出前講座等の開催	回	随時	随時	随時	随時	随時	生涯学習課	継続

主な取組③：公園、緑地（みどり）の整備

想定される課題

- ・ 公共施設（公園等）の荒廃
- ・ 緑地の減少

取組の趣旨

都市生活において花や樹木などはやすらぎをあたえてくれる存在です。

伊万里市では公園や主要道路、河川敷への植栽、緑化を進めており、公園については、除草や樹木の維持管理を適正に行い、快適な利用のための環境整備に努めていきます。

また、県では、佐賀県環境の保全と創造に関する条例に基づいて、「県内一斉ふるさと美化活動」を実施しており、伊万里市においても河川、道路、水路、公園等の美化活動を行っています。



重点目標

項目	目標像
公園や緑地などの美化	河川、道路、水路、公園が適切に整備された美しいまちなみを維持する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
45	都市公園の整備	1	都市公園数	箇所	37	37	37	37	37	都市政策課	継続
		2	都市公園面積	ha	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	都市政策課	継続
46	街路樹の適正管理、清掃	1	市道平尾・脇田線外32路線の街路樹の剪定・除草等	Km	10	10	10	10	10	道路河川課	継続
47	さが緑の基金を活用した地域環境緑化事業の推進	1	植栽本数	本	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	農山漁村整備課	継続
48	ふるさと美化活動の実施	1	参加団体数	団体	25	25	25	25	25	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
48	ふるさと美化活動の実施	2	参加人数	人	350	350	350	350	350	環境課	継続
49	環境保全活動の事前広報・協力依頼	1	ふるさと美化活動の事前広報・協力依頼	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
50	樹木管理や除草、定期的なトイレ清掃などの公園環境の管理	1	都市公園内の除草・樹木管理	回	随時	随時	随時	随時	随時	都市政策課	継続
		2	玄海国定公園内の除草・樹木管理、定期的なトイレ清掃	回	100	100	100	100	100	観光戦略課	継続
		3	イマリンビーチ内の除草・樹木管理、定期的なトイレ清掃	回	2	2	2	2	2	観光戦略課	新規
		4	生活環境保全林の除草	回	1	1	1	1	1	農山漁村整備課	継続
		5	都川内森林公園の除草	回	3	3	3	3	3	農山漁村整備課	継続



竹の古場公園のつつじ

3. 豊かな自然があふれるまち伊万里（自然環境）

主な取組①：自然環境の保全

想定される課題

- ・人間の活動による環境への負荷
- ・野生動植物の減少
- ・環境負荷の高い農業などによる河川への負荷
- ・有害鳥獣による被害
- ・耕作放棄地の増加



取組の趣旨

野生の動植物に関する正しい知識を持ち、今ある自然を後世に残していく行動が必要です。伊万里市では、下水道や浄化槽などの汚水処理の普及や環境保全型農業の推進など、自然に負荷をかけない取り組みに努めていきます。

また、近年問題となっている有害鳥獣については、適正な狩猟及び防除に努めていきます。

重点目標

項目	目標像
動植物との共生	動植物の生息・成育区域が保全され、人と動植物がともに暮らす環境を育む。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
51	下水道事業の継続	1	下水道区域内における整備面積	ha	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	下水道施設課	継続
		2	下水道区域内における管渠延長	m	100	100	100	100	100	下水道施設課	継続
52	浄化槽設置整備の促進	1	補助基数	基	60	60	60	60	60	管理課	継続
53	有害鳥獣の防除	1	侵入防止柵の設置推進	m	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	農業振興課	継続
		2	イノシシの捕獲頭数	頭	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	農業振興課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
54	環境にやさしい農業（環境保全型農業）の推進	1	環境保全型農業直接支援対策への取組み面積	a	4,220	4,220	4,220	4,220	4,220	農業振興課	継続
55	遊休農地の解消	1	利用意向調査	件	100	100	100	100	100	農業委員会	継続
		2	解消面積	ha	4	4	4	4	4	農業委員会	継続
47と同じ	さが緑の基金を活用した地域環境緑化事業の推進	1	植栽本数	本	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	農山漁村整備課	継続



竹の古場公園から見る伊万里湾の展望

主な取組②：生物多様性の確保

想定される課題

- ・土地開発行為等による希少野生動植物の減少、絶滅
- ・外来種の侵入増加による在来種の減少

取組の趣旨

伊万里市は、多くの希少な野生動植物が生息し、生育する自然豊かな地域ですが、開発行為をはじめ人間の活動が貴重な自然を破壊する恐れがあります。

市では、希少な野生動植物に関する生息状況の調査や、生息に関する周知活動を行い、保護意識を高める取り組みに努めていきます。

絶滅危惧種「タイワンツバメシジミ」



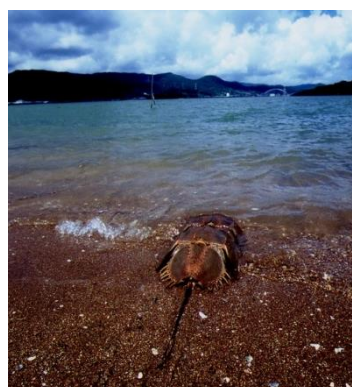
重点目標

項目	目標像
希少動植物・在来種の保護	希少動植物の生育環境を維持し、現在と同じ種が同じ場所に生息・生育する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
56	絶滅が危ぶまれる動植物の紹介	1	広報誌等での啓発	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
57	持ち込みなどが規制される動植物の紹介	1	広報誌等での啓発	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
58	カブトガニ産卵つがい数調査の委託	1	調査委託団体数	団体	1	1	1	1	1	生涯学習課	継続
59	カブトガニ生息状況調査	1	調査回数	回	随時	随時	随時	随時	随時	生涯学習課	継続
60	カブトガニ幼生飼育活動の協力	1	飼育機関数	機関	4	4	4	4	4	生涯学習課	継続
61	環境保護活動への資料の提供	1	カブトガニ標本貸し出し回数	回	随時	随時	随時	随時	随時	生涯学習課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
62	カブトガニ産卵の暦の公開	1	カブトガニ産卵の暦の作成	回	1	1	1	1	1	生涯学習課	継続
		2	カブトガニ産卵の暦のHP掲載	回	1	1	1	1	1	生涯学習課	継続
63	カブトガニの産卵を観る会の開催	1	開催数	回	1	1	1	1	1	生涯学習課	継続
64	展示館でのカブトガニの生体の展示	1	公開展示期間	期間	通年	通年	通年	通年	通年	生涯学習課	継続
		2	「カブトガニの館」の入場者数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	生涯学習課	継続
65	山代塾による塩生植物の観察・保護活動等	1	観察、清掃等活動	回	随時	随時	随時	随時	随時	生涯学習課	継続
66	カブトガニ産卵地清掃活動	1	実施回数	回	3	3	3	3	3	生涯学習課	継続
67	希少野生生物の保護	1	土地開発行為時の希少野生生物の生息状況の確認指導	件	24	24	24	24	24	環境課	継続
		2	県と連携した希少野生生物の捕獲・採取に対する指導	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
68	外来種への対応	1	県と連携した情報の把握と防除活動	件	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
69	南波多町における希少野生生物の保護活動等	1	観察、清掃等活動	回	随時	随時	随時	随時	随時	生涯学習課	継続



多々良海岸とカブトガニ

4. 地球にやさしいまち伊万里（地球環境）

主な取組①：省エネルギー、地球温暖化対策

想定される課題

- ・ 温室効果ガスの増加による地球温暖化の進行
- ・ 異常気象の増加
- ・ パリ協定に基づく国の温室効果ガス削減目標の未達成

取組の趣旨

令和2年以降の温暖化対策を定めたパリ協定※が採択され、各国に温室効果ガス排出量の削減に向けた取組が求められています。

日本では、温室効果ガスの排出が少ない「再生可能エネルギーへの転換」や脱炭素社会づくりに貢献する賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進しています。

伊万里市は、市民に対する様々な周知活動を継続して行うとともに、自らの事業活動により発生する温室効果ガス発生量の削減に努めていきます。



※パリ協定

第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で気候変動規制に関する多国間の国際的な協定

重点目標

項目	目標像
省エネ・地球温暖化対策の実行	温室効果ガス排出量の削減による地球温暖化の改善を図る。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
70	温暖化対策等の紹介	1	出前講座による紹介	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		2	市主催講座開催数	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		3	広報紙等への掲載	回	12	12	12	12	12	環境課	継続
71	クールビズ・ウォームビズの取組についての紹介	1	啓発ポスター等の掲示・配布（県配布時）	回	2	2	2	2	2	環境課	継続
72	民間事業者等による再生可能エネルギー導入の支援	1	情報提供、制度事業活用のアドバイス等	回	随時	随時	随時	随時	随時	企画政策課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
73	フロン排出抑制の取組	1	フロン使用機器の適正管理に関する通知	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
74	省エネ機器の導入	1	施設への導入	箇所	随時	随時	随時	随時	随時	各課	継続
75	エネルギー効率のよい照明への切替え	1	切替えの検討・導入	箇所	随時	随時	随時	随時	随時	各課	継続
76	ストップ・ザ・温暖化・いまりアクションプログラムの取組、成果公表	1	計画に基づくCO ₂ の削減	%	計画で定める削減目標の達成					環境課	継続
		2	電気使用量等の成果のホームページでの公表回数	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
77	空調の適正使用	1	適正な温度設定	-	通年	通年	通年	通年	通年	財政課	継続
78	各コミュニティセンターにおける冷暖房使用の温度制限の呼びかけ	1	冷暖房の使用温度制限の表示	-	通年	通年	通年	通年	通年	まちづくり課	継続
79	クールビズの周知	1	職員への周知回数	回	2	2	2	2	2	総務課	継続
		2	市議会議員への周知回数	回	1	1	1	1	1	議会事務局	継続
47と同じ	さが緑の基金を活用した地域環境緑化事業の推進	1	植栽本数	本	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	農山漁村整備課	継続



主な取組②：再生可能エネルギーの導入**想定される課題**

- ・環境負荷の大きい火力発電等の増加による地球温暖化の進行
- ・原子力発電所の事故による影響の懸念

取組の趣旨

現在、わが国の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源です。これに対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱などのエネルギーは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能な、資源が枯渇しないエネルギーです。伊万里市は、それらのエネルギーの活用に努めていきます。

重点目標

項目	目標像
再生可能エネルギー利用の推進	再生可能エネルギーへの移行

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
80	バイオマス利 活用の推進	1	浄化センターでの バイオマス発電の 実施	施設	1	1	1	1	1	下水道 施設課	継続
81	環境に配慮し た電力調達	1	環境に配慮した電 力の入札の実施	回	5	5	5	5	5	各課	新規

主な取組③：省資源化対策、循環型社会の構築**想定される課題**

- ・廃棄物の処理増加による環境負荷の増加
- ・再資源化の減少による環境負荷の増加

取組の趣旨

ごみの減量化や資源化を進めていくために、私達は行政や市民、事業者が連携し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みを今後も推進する必要があります。伊万里市は、市民の3Rに関する意識を高めるための周知活動に努めていきます。

重点目標

項目	目標像
廃棄物の減量・再資源化の推進	3Rの推進により、廃棄物の減量および再資源化による環境への負荷を減らす。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
82	不用品交換 情報登録制度 事業の実施	1	登録依頼件数	件	20	20	20	20	20	環境課	継続
83	リサイクル フェア事業の 実施	1	環境美化功労者 表彰数（個人）	名	3	3	3	3	3	環境課	継続
		2	環境美化功労者 表彰数（団体）	団体	3	3	3	3	3	環境課	継続
		3	バザー出展者数	店	26	26	26	26	26	環境課	継続
		4	来場者数	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	環境課	継続
84	資源ごみ回収 奨励事業実施	1	登録団体数	団体	185	185	185	185	185	環境課	継続
85	環境保全創造 住民活動支援 事業の実施	1	イベント等の広報 紙の掲載	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
86	市民活動等の 環境保全活動 について広報 紙での紹介	1	広報紙の掲載	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
87	詰替え製品等 の積極的採用	1	採用品目割合	%	5	5	5	5	5	契約 監理課	継続
88	グリーン購入 法適合商品の 積極的購入	1	購入品目割合	%	32	32	32	32	32	契約 監理課	継続
89	ごみ分別等講 習会の対応	1	要望対応	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
90	子どもを対象 としたごみ分 別等の環境教 育の要望対応	1	要望対応	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
91	ごみ処理の状 況及び減量化 の取組の広報 紙による公開	1	広報紙の掲載	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
92	事業者団体へ 3Rの取組強 化を依頼	1	多量排出事業者へ の協力依頼	社	15	15	15	15	15	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
93	マイバッグ推進店の登録要請・マイバッグの取組広報	1	広報紙の掲載	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		2	マイバッグ推進店の登録数	店	10	10	10	10	10	環境課	継続
94	不法投棄監視パトロールの実施	1	職員によるパトロール	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
		2	委託によるパトロール	回	16	16	16	16	16	環境課	継続
95	不法投棄についての指導	1	現地での指導	回	随時	随時	随時	随時	随時	環境課	継続
96	廃蛍光管の回収	1	回収量	kg	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	環境課	継続
97	使用済乾電池の回収	1	回収量	kg	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	環境課	継続

おそとで

さんまる・いちまる

残さず食べよう！30・10運動

～飲食店での食べ残しを減らす取組み～



3つのルール

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前10分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

我が国では、まだ食べられるのに捨てられてしまっている食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約612万トンも発生しています。これを一人あたりに換算すると、毎日お茶碗1杯分（約132グラム）のご飯の量を捨てていることになり、食料の大半を輸入（現在の食料自給率37％）に頼っている一方で、食べられる食料を大量に捨てているという、実にもったいない現実があります。

本市は、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参加し、飲食店等での食べ残しを減らす具体的な取り組みの一つである「30・10運動」を推進し、少しでも食品ロスの削減につなげようとしています。ご家族やご友人、職場の仲間などと飲食店等で外食、宴会をされる場合は、一人ひとりが「もったいない」を心がけ、楽しく・おいしく食事を楽しみましょう。

5. 次の世代を考えるまち伊万里（環境保全体制）

主な取組①：環境学習と保全活動の推進

主な取組②：環境意識の向上

想定される課題

- ・環境保全に対する意識の低下
- ・環境破壊の進行

取組の趣旨

現在の環境問題は、地球温暖化に代表されるように私たちの生活そのものが直接的あるいは間接的に影響していることが特徴です。

そのため、環境問題を身近なものとしてとらえ、理解するとともに、私たちそれぞれが環境保全に対する意識を高め、自主的で積極的な取り組みに結びつけていくことが必要です。

伊万里市では、出前講座の開催や市民団体等が行う環境学習の支援を行い、環境保全意識の啓発に努めていきます。



重点目標

項目	目標像
環境問題への関心の向上	市民一人ひとりが環境問題を理解し、環境の保全に向けた自主的で積極的な取組を推進する。

取組計画

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
98	環境の現状の理解	1	「伊万里市の環境報告」の作成・公表	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
99	環境関連書籍等の整備、閲覧コーナーの設置	1	配置したリーフレット等の種類	種類	常時20	常時20	常時20	常時20	常時20	環境課	継続
100	ホームページ上での環境関連情報の充実	1	ホームページ情報の追加	回	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	環境課	継続
101	環境の現状の理解	1	環境保全関係の出前講座開催数	回	5	5	5	5	5	環境課	継続
102	こどもエコクラブへの支援	1	取組クラブ数	団体	20	20	20	20	20	環境課	継続

番号	具体的取組	枝番	取組指標	各年度の数値目標						担当課	区分
				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
103	総合的な学習の時間の内容系列表に環境を位置づけた取組	1	小中学校数	校	23	21	21	21	21	学校教育課	継続
104	環境保全に係る市民活動団体の把握	1	環境保全に係る市民活動団体の調査	回	1	1	1	1	1	環境課	継続
		2	環境保全に係る市民活動団体数	団体	12	12	12	12	12	環境課	継続
105	環境サポーター（環境保全活動指導者）制度の活用	1	環境サポーターによる講座の開催	回	2	2	2	2	2	環境課	継続
		2	市内の環境サポーター数	人	9	9	9	9	9	環境課	継続
106	都市公園における環境美化活動	1	里親の参加団体数	団体	11	11	11	11	11	都市政策課	継続



緑のカーテン取組み例



環境保全に関する出前講座

第3章 環境保全に向けた私たちの取組

市民ネットワーク「いまり」からの意見

私たちの住む伊万里市の環境をどう良くしていくかの問題は、行政だけでなく、市民一人ひとりの自主的な環境保全への取組が重要になります。

そこで、市民ネットワーク「いまり」の皆さんに協力していただき、「私たちが環境のためにできること」について、アンケートを実施し、意見をまとめました。

依頼団体数 市民ネットワーク「いまり」に参加している17団体

現在、環境に関して気になることはありますか？

- ・近年、地球温暖化問題は異常気象によって多発する各種災害や海面上昇などのほか、食糧問題へ波及するなど、私達の日常生活に支障をきたすようになっていきます。これらの対策として新技術の開発は重要なことではありますが、まず、地域の一人ひとりの意識づけ・心がけを「小さな活動の積み重ね」として増やし結びつけながら草の根運動として市民の日常生活の中で解決・改善しなければならない状況となっているように感じています。
- ・高齢世帯になり、不要な物がどんどん溜り、その処理に苦慮しています。
- ・市民の憩いの場であった「城山公園」の整備をして欲しいと思います。昔売店があった頃は、日曜日など家族連れが多くみられましたが、最近はほとんど市民の姿がありません。公園全体がさびれたように感じます。
- ・耕作放棄地や空き地が増え草刈等の管理がなされていない為に鳥類のエサ場になり、動物や昆虫の溜まり場となっているようです。隣に住宅があれば、動物のフン害で悩まされることもあるようです。このような生活環境を改善できないだろうかと思えます。
- ・伊万里に古い景観が残っている地域は大川内山しかないように感じられますが、伊万里津を思い起こさせるものを強いて挙げれば、佐賀銀行の時計や丸駒屋があると思います。江戸から明治、戦前まで伊万里を通じて陶器が日本中に運ばれたという往年のにぎわいを考えると、その時代を想起させるものはあまりにも少ないように思います。
- ・伊万里の歴史資料館や街並みは、十分に整備されているとはいいがたいと思います。
- ・丸駒屋がガイド待機所のようになっているようですが、現状ではガイドのトークだけで観光客は昔の賑わい、昔の伊万里の姿を描ける周遊ルートがないと思います。
- ・伊万里川の河川敷が放置されているように感じます。人の背丈ほどある草が伸び放題で、その間にはゴミが散乱しています。このような状況の改善は市民がすることなのでしょうか？そのうちに草の間から遺体が発見されることも考えられそうです。
- ・公共の場の清掃奉仕活動ボランティアが協力しあって取り組める仕組みがないと思います。協力できる仕組みを作ってほしいと思います。

生活環境を守るために、私たちができること

- ・身の回りの環境に関心を持ち、草刈りや清掃・油を流さない等の環境を整え、次に地域のことを考え、そして市全体の環境について考え行動したいと思っています。
- ・自宅周辺や敷地の管理を徹底することも大事だと思います。

まちなみ環境を守るために、私たちができること

- ・まちなみや環境を守るために周辺の道路のごみ拾いや草刈りを行うことができるのではないのでしょうか。
- ・個人や団体・グループごとに清掃活動を企画し、活動を行うことが環境を守るためには必要だと思います。
- ・自身のごみは、放置せず必ず自宅に持ち帰るようにしなければならないと思います。

自然環境を守るために、私たちができること

- ・家庭菜園や庭の手入れ等で、農薬(除草剤・殺虫剤)や化学肥料を極力使用しないようにし、地域で生産される有機堆肥を使いたいと思っています。
- ・次回の家の改装の時にはバイオマス冷暖房（再生可能エネルギー）を使用したいと思っています。
- ・腰岳周辺のゴミ処理や登山道の整備などを定期的に行うことが大事だと思います。
- ・家庭ゴミの減量キャンペーンを図ることが大事だと思います。
- ・ゴミの減量化のため、リサイクルサンデーを活用したいと思っています。
- ・生ごみ等を捨てない、むやみに動物（猫やカラス等）にエサを与えないようにしています。

地球環境を守るために、私たちができること

- ・ごみ等を各家庭で燃やさないこと、さらに生ごみは水分を多量に含んでいるので燃えるごみと分別し、堆肥に変えることで、農家などが使用でき、生産された作物を地域で消費する食資源の循環活動を継続し実践します。
- ・特に生ゴミの分別・収集について、燃えるゴミとして一括処分ではなく、生ゴミの資源化に取り組むべきだと考えます。（はちがめプランの一般家庭への展開。）
- ・住民・企業・官公庁が一体となって統一したルールを作ることが大事だと思います。

環境保全体制を守るために、私たちができること

- ・ゴミは市のルールに従ってきちんと分別し、再利用できるものは資源ごみとして地域で有効に活用する体制をとれば、CO₂の発生抑制もできると思います。佐賀県の中で唯一のいまりスタイルの地球温暖化防止体制が整うのではないかと思います。
- ・自然と触れ合えるイベントを催すことで環境意識が高まるのではないのでしょうか。
- ・伊万里市環境別ランキング等、他の地域と比較した表等を作り、環境について可視化できる仕組みを作ることも必要だと思います。

その他

- ・人口減少のなか、一人ひとりの環境を守る意識が大事だと思います。
- ・行政手続きの簡素化等で、耕作放棄地の再利用がスムーズになるなど、地域住民が容易に取り組めるようになってほしいです。
- ・個人の意欲や意識があるだけでは、行動に移すことは難しいですが、数人、数十人が協力すれば、取組も実行できると思います。そのような方のフォローをしていきたいと思ひますし、行政にもフォローしてもらいたいと思ひます。

多数のご意見ありがとうございました。